

この夏の降水量について

今年(2013年)は、梅雨明けが6月11日頃とかなり早く、梅雨明け以降も降水量の少ない状態が続きました。特に7月13日から8月1日まで間に、1mm以上の降水が無い日が20日間継続しました。この結果、宮古島地方気象台における、6月から9月の降水量及び平年比は表1のとおりとなりました。

表1. 宮古島地方気象台における2013年6月から9月における降水量、及び平年比

月	6	7	8	9	6~9月合計
降水量 (mm)	117.5	40.0	163.5	178.5	499.5
平年値 (mm)	185.5	130.8	262.5	230.0	808.8
平年比 (%)	63	31	62	78	62

(平年値は1981年から2010年までの30年間の観測値の平均をもとに算出しています)

このような状況から、地下ダムの貯水量は低下の一途をたどり、8月には地下ダム水位観測施設が干上がったこともあって、「干ばつ」の文字が新聞紙上を賑わすこととなりました。8月と9月には、台風の影響などでまとまった量の雨が降った日もありましたが、それでも平年を超える降水量とはなっておらず、砂川地下ダムの貯水率も57.7%に留まっています(貯水率は10月1日現在、宮古土地改良区による)。

1981年以降のデータと、この夏の降水量を比較すると、表2のとおり6月～9月の降水量が500mmを下回った年は1981年以降5回目となります。また、1mm以上の降水の無い日が20日以上継続したのは、1981年以降だけでも15回発生していて、2000年には31日間無降水が続いたこともありました。さらに、2009年のように6月～9月の降水量が667.5mmと、今年より160mm以上多かったにもかかわらず、10月に砂川地下ダムの貯水率が過去最低(35%)を記録したこともありました。

表2. 宮古島における6月から9月の降水量の少ない年及び無降水継続期間
(1981年以降の上位5位)

6月～9月の降水量が500mmを下回った年(1981年以降)		無降水継続期間 (1981年以降、長い方から上位5位)	
1986年	397.0mm	2000年	31日間(9月15日～10月15日)
1984年	412.0mm	1994年	29日間(10月25日～11月22日)
2011年	486.0mm	1997年	28日間(2月17日～3月16日)
1993年	495.0mm	1992年	25日間(6月29日～7月23日)
2013年	499.5mm	1989年	25日間(6月21日～7月15日)

10月以降は夏場に比べると降水量が少なくなりますので、平年並み程度の降水量では、地下ダムの貯水率が急速に回復するとは考えにくく、引き続き中長期的な視野に立った水資源の管理が必要です。気象台では日々の天気予報や注意報、警報のほかに、「1ヶ月予報」及び「3ヶ月予報」を定期的に、また少雨が見込まれる場合には「少雨に関する宮古島地方気象情報」を随時発表していますので、これらの情報を水資源の適切な管理にご活用下さい。

- ・1ヶ月予報 原則として毎週金曜日14時30分に発表します。
http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/111_00.html
- ・3ヶ月予報 原則として毎月25日14時に発表します。
http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/111_10.html
- ・宮古島地方気象情報 少雨が見込まれる場合に随時発表します。
http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/355_index.html
(当該情報が発表されていない場合は、表示されませんのでご注意下さい)